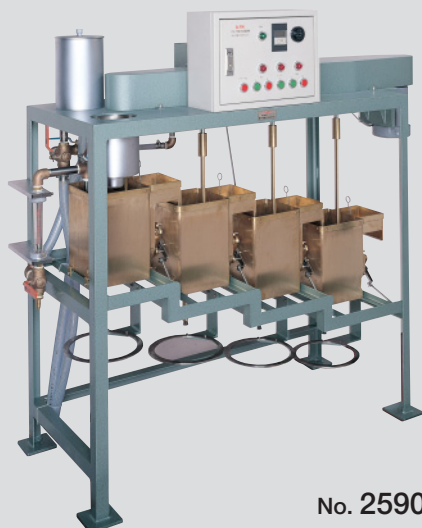


No. 2590-I



No. 2590-II



No. 2591

No. 2590-I

パルプ篩分試験機（4槽標準型）

本機は様々な形状の繊維をスクリーンによりそれぞれの長さに容易に篩分ける装置です。各々異なったメッシュの金網を備えた4個の篩分槽と注入槽によりなり、パルプと共に一定の流速で水を注入することにより、繊維は順次水流と共に段差をつけて直列に配置された4個の槽に篩分けされます。尚、繊維のスクリーンへの付着を防ぐため、攪拌装置を装備し、Vベルトにより連結し機構を簡素化し騒音を抑えております。

<特長>

1. 槽の配列を一行にしたため操作がしやすく、壁際に設置できる。
2. 篩分各槽の排水バルブをなくし、ゴム栓を採用したため、繊維が管中に付着することがない。又はボールベアリングを取付けた型式もある。
3. 攪拌装置の回転部分はボールベアリングを使用しているため、音が静かで回転が円滑である。
4. 試料注入槽が天板埋込型のため、内部確認や洗浄が容易である。
5. 篩分槽に金網を固定する方法に、レバー締付け方式を採用し、作業性が大幅に向上している。（オプション）

- 試料：絶乾 10g 濃度 1%
- 篩分槽金網目の開き μm ：1400(12)、1000(16)、710(22)、500(30)、355(42)、300(50)、250(60)、180(83)、150(100)、106(140)、75(200) [括弧内m/s]
この中から4枚選択

- 試料槽：容量 2 ℓ
- 流速：8.3 ℓ/min .
- 回転数：800rpm.
- オプション：金網取り付け ワンタッチ式、試料回収用標準篩受け
- 参考規格：JIS P-8207-1976
- 電源：100/110V 50/60Hz 3A
- 外形寸法：1450×480×1530mm
- 重量：127kg

No. 2590-II

パルプ篩分試験機（自動式）

試験研究作業に携わる当事者にとって自動化、省力化は当然ごとく必要になります。

本来、篩分試験は人手を要し、かなりの時間を消費していました。本機は一定時間、自動給水、攪拌し、試験終了時にベルを鳴らして知らせ、試験の省力化を実現しています。

- 篩分槽金網：レバーワンタッチ着脱式
- 流量計：フロート式10 ℓ
- タイマー：30分
- 外形寸法：1600×500×1530mm
- 重量：140kg

No. 2591

パルプ篩分試験機（バット1個型）

本機はNo.2590と同じく、スクリーンを通じてパルプ繊維をそれぞれの長さで篩分けるもので、繊維長の分布状態、叩解による繊維長変化の測定に使用されます。バット4個型に比べ、操作は簡便で正確なる測定ができますので、工場の叩解工程管理には最適の機械です。

- 篩分槽金網目の開き μm ：1400(12)、1000(16)、710(22)、500(30)、355(42)、300(50)、250(60)、180(83)、150(100)、106(140)、75(200) [括弧内m/s]
この中から1枚選択

- 流速：8.3 ℓ/min .
- 回転数：800rpm.
- オプション：金網固定レバーワンタッチ式、試料回収用標準篩受け
- 参考規格：JIS P-8207-1976
- 電源：100/110V 50/60Hz 2A
- 外形寸法：590×440×1130mm
- 重量：35kg